
 雜 録

在英國村上鐵道省技師より俵理事宛(8月1日)通信中軌條に關するものを摘載

1) タイプレートの件 之は最近白國に註文集中し先般も一口監督に参りしが本月より又々同品數 1,000 噸の監督に参る事に相成候

2) 特殊鋼軌條の件 住友構内軌條試験中、滿俺鋼軌條及ソルバイト軌條 4 號附けに就て英國夫々工場に監督に入り以上は先月日本向け積出しを終了候

目下獨逸製“Verbundstahlochiemen” 之は軌條頭部を合金鋼とし腹部及底部を普通鋼とし兩者を熱間に融合せしめ、熔接に依る事なくして強壓、相當信賴出來、磨耗に耐ゆる事滿俺鋼の如く然も價格僅小普通品より昂騰するに過ぎず、ソルバイト軌條より有利なる如く稱せられ居るもの調査中に候

尙英國にて 10 年程線路に轍又として敷設し滿俺鋼の如くなかなか磨耗に耐ゆる結果を示し居るクロミウム鋼軌條に就ても調査を進め居り候、之も普通品に比し僅小價格昂上するに過ぎざる様子、而して之は他の合金鋼等特種鋼軌條同様磨耗に耐する性質あるのみならず腐蝕に耐ゆる性質あるにあらざるかと稱せられ居り候

3) 鐵枕木の件 英米兩國鐵道は永年鐵枕を採用せざりしが近時輸入木材の價格上ると共に製鐵業保護の見地よりして英本國に於ても鐵枕の使用を考慮し始め、サウザール鐵道本線頻繁線に相當大規模にて 8ヶ年間敷設し其の成績好良なるものありし事よりして目下各製鐵會社に於て英本國各大鐵道會社の鐵枕を盛んに製造中なるを實見致し候、此議につき先般政變後英國新内閣トーマス郷の失業救濟政策議會に於ける大演説の冒頭に於て鐵枕使用に依り製鐵業の失業者を救ふべしと強調したるは一般の注意を惹きしもの既に御案内の次第と存じ候

4) 英國軌條仕様中滿俺含有量の件 英國軌條仕様が他の歐米各國仕様に比し綿密嚴格、而して其來歴が如何にも經驗を十分に履み來り居るものなるは感得されるが、其の化學成分規格の中庸に近きものあるは小生等の經驗よりしても克く會得出来るもの有之候、御案内の通り英國軌條仕様、化學成分は軸重日本の其れより稍大なる鐵道に應用せらるゝ低炭素の分と軸重著しく大なる鐵道に應用せらるゝ高炭素の分と兩者有之、前者は鐵道省と八幡と協定施行し居る炭素含有量と同様のものに有之候、(鹽基性鋼の場合) 後者は炭素含有量鹽基性平爐鋼にて 0.55—0.68% にして米國の其れより著しく低目なるものに有之候、然るに最近如斯き高炭素量にては軌條の脆くなる事を脱れず宜しく之れを低下し代ふるに滿俺含有量の増加を以てすべしとの議論相當有力に起り來り候、今大陸諸國は勿論トーマス鋼なるも普通日本の仕様より著しく低炭素のものを實施し居れるが、佛國等に於ては滿俺含有量を

日、英、米より著しく大に致し居り英國に於ける高滿庵主張者は此程即ち1%内外の滿庵としたき希望に有之候 以上

北九州の製鐵鋼業 茲に掲載したるは昭和3年12月九州機械工業會創立拾周年記念號に本會評議員正員永田五郎氏の掲載したるもの、拔萃轉載にして八幡製鐵所の分は時々掲載したるを以て省略せり

(1) 日本鋼業株式會社(福岡縣築上郡八屋町)本工場は大正8年5月硅素鋼板製造の目的を以て日本電氣鐵板株式會社と稱して創立せられ資本金200萬圓、社長藏内保房氏であつたが、種々の事情により大正9年5月作業を中止し、その後整理のため大正11年及13年の2回に資本金の減額を行ひ仁田貞夫氏を社長とし、資本金100萬圓の日本鋼業會社と改稱し工場諸設備の改造を行ひ、薄鋼板製造を主眼として作業を始めたのが大正14年2月の事であつた。爾來常晝作業より晝夜2交代更に3交代に進み、その間技術も向上し製品も最初 B.W.G. No. 15—18 位なりしもの No. 24 に及び更に No.30.5 (13枚物) の薄物を出すに至り、その産額も漸次増加したのである。

期	間	生産高	期	間	生産高
大正14年	2月20日~4月30日	400吨	大正15年	5月1日~昭和2年4月30日	5,678
大正14年	5月1日~15年4月30日	4,632	昭和2年	5月2日~"3年4月30日	6,891

製品の販路は大部分京阪地方で幾分かは九州各地にも向けられる、また原料たるシートバーは主として之を歐洲に仰ぎ八幡の製鐵所からも極少量の供給を受けてゐる。本社設備の大要を記せば次の如くである。

1. 機械類

原動機	ロール機	爐	剪斷機	矯正機	起重機	ロール施盤
800馬力 モーター 1	粗仕上及コ ールド機各1	荒爐1仕上 2 燒鈍爐 2	3	2	5套オーバーヘッド2 5套荷揚 1	1

2. 建物

本工場	仕上工場	鍛冶鑄物場	倉庫	事務所、休憩所及浴場	職工社宅
1棟 562坪	1棟 32坪	1棟 32坪	4棟 151坪	4棟 96坪	6棟 484坪

3. 敷地 10,227坪

4. 従業員 職員(取締以下) 17名 職工 149名

(2) 神戸製鋼所門司伸銅所(門司市小森江)(鐵鋼業以外のものなれど作業の性質類似するを以てここに収めたのである)

本工場は大正6年7月銅合金各種、鋸、管及棒を製造するため創立せられ同年7月作業を開始して今日に及んでゐる。勿論銅合金の外アルミニウム及其合金並に亜鉛や錫等に於てもそれらの製品を出しすでに海軍省指定工場とし國內は云ふまでもなく遠く支那、南洋及印度にも輸出しつつある。

1. 鑄解工場

坩 埚 爐	10	8T 反 射 爐	2	15T 反 射 爐	1	中 子 乾 燥 爐	2
2.5噸 猫 壺 爐	4	起 重 機	2	モ ー タ ー	4		

2. 管棒工場

加 熱 爐	2	軟 化 爐	5	150T 抽 伸 機	1	80T 抽 伸 機	1
50T 抽 伸 機	2	30T 抽 伸 機	11	20T 抽 伸 機	2	15T 抽 伸 機	7
15T 木 製 "	9	卷 取 抽 伸 機	2	施 盤	19	ピアシグロール	1
パイプ ロール	2	三段バーロール	3	蓄 壓 機	1	4,000lb 水 壓 ポンプ	1
ガドナリーポンプ	2	1,000T 抽 出 機	1	4,000lb 堅 水 壓 機	1	空 氣 壓 搾 機	1
口 付 機	4	ベルトハンマー	2	成 形 機	1	平 削 機	1
鑽 孔 機	1	切 斷 機	7	起 重 機	1	復 水 管 面 取 機	1
棒 研 磨 機	2	ダイス 研 磨 機	2	水 壓 試 験 機	2	モ ー タ ー	19
モーターサイレン	1	其 他					

3. 製鉄工場

加 熱 軟 化 爐	6	小 鉄 乾 燥 爐	3	軟 化 爐	4	正 面 施 盤	2
施 盤	1	大 鉄 火 延 ロール	1	大 鉄 冷 延 ロール	2	小 鉄 ロール	10
歪 取 機	1	切 斷 機	7	起 重 機	5	洗 滌 機	2
モ ー タ ー	14	1,200lb 蓄 壓 機	1				

4. 鑄物工場

キヌボラ	2	送 風 機	1	ジブクレーン	4	研 磨 機	1	モ ー タ ー	1
------	---	-------	---	--------	---	-------	---	---------	---

5. 敷地 約 12,000 坪 尙設備整へる分析室を有しクーレー式試験機、ブリネル硬度計、インテンシフアイヤー及顯微鏡寫真機等を有する材料試験室と相俟ち、製品の性質を明かにしその改善につとめつゝある。

かやうな設備を以て本工場の製造能力は 1 ヶ月管類 150 吨、棒類 100 吨、鉄類 300 吨であるが昭和 2 年度に於ては、各種製品 6,200 吨、此價額 6,300,000 圓に達してゐる

現在取締役田宮嘉右衛門氏 工場長南久壽藏氏以下職員 50 名 職工 630 名が作業に従事してゐる。

(3) 東京製綱株式会社小倉小場(小倉市砂津)川崎工場及神戸工場と共に東京製綱會社をなすもので明治 20 年の創立にかゝり現在資本金 10,500,000 圓である。そして此小倉工場は明治 39 年 2 月に設立されワイヤロープの製造を行つてゐる。

製品の種類 ロープ類、鑛山用、架空索道用、ケーブルカー用、漁業用、電信電話線用撚線、送電線路用撚線、飛行機用等各種

ワイヤ類 電信電話線、ガンワイヤ、ヘルドワイヤ、ピアノワイヤ、マイルド極柔軟鍍線等

原料は高炭素平爐鋼で C が 0.6~0.8%, Mn が 0.40%, Si が 0.15% 位のものであるが鑛山用起重

機等の特殊ロープに對しては、瑞典フーホース製ワイヤロツドを使用してゐる。しかしそれらの原料は直ちに使用するものでなく必ず焼鈍健淬及酸洗をへたるものを更に水洗し高温度の石灰乳槽中に入れ表面に石灰膜を作らしめ、之を乾燥室に搬入して長時間に亘り充分の乾燥を行つた後初めて製線作業に移される。即最良質のクロムカーボン鋼のダイスを使つて數回乃至 10 數回抽出して目的の大きとする。又ロープはその用途によりて亜鉛若くは錫で鍍金して防錆する事がある。熱湯槽で洗滌したるワイヤを亜鉛又は錫の鎔融槽中を通過せしめる。

本工場には緊張力試験、捻回試験、龜裂試験、丹礬試験は勿論 200 噸のロープ試験機、その他顯微鏡寫眞室や分析室の設けもある。

本工場の敷地 1,500 坪、工場建物 3,800 坪、動力 1,400 馬力以上を要し、職工 550 名を使役して 1 年 7,200 噸の製品を出してゐる。

尙現社長は赤松範一男で、小倉工場長は香月五郎氏である、最後に近年此の工場の生産を表示しておく。

年 度	ワイヤーロープ生産高	年 度	ワイヤーロープ生産高	年 度	ワイヤーロープ生産高
大正 7 年	988,978,390	大正 11 年	1,101,672,700	大正 15 年	1,348,311,484
" 8 年	825,910,915	" 12 年	1,057,960,000	昭和 元 年	
" 9 年	882,666,700	" 13 年	1,548,633,020	" 2 年	1,502,015,420
" 10 年	940,752,930	" 14 年	1,284,426,670		

(4) 株式會社淺野小倉製鋼所 (小倉市許斐町) 本所はもと東京製鋼株式會社が小倉製鋼所として建設したるものであつたが大正 7 年末に淺野總一郎氏が隣接する日本銑鐵株式會社と共に繼承し、大正 9 年更に帝國特殊煉瓦株式會社をも合併して今日に及んだものである。

工場は製鋼工場 (鹽基性 25 噸平爐 3 基、能力年産 54,000 噸) 小形工場 (能力年産 63,000 噸)、線材工場 (能力年産 52,200 噸)、鋼線鋼索工場 (能力年産 6,000 噸)、爐材工場 (能力年産 5,000 噸) 及修繕工場 (鑄物、鍛冶、旋盤、仕上、木工場) から成つてゐる。此外鋼片工場及 20 噸鎔鑄爐 2 基を有するが今は何れも休止してゐる。

現在製造してゐる鋼材は丸鋼、角鋼、平鋼、六角鋼、八角鋼、發條溝付平鋼等各種棒鋼及線材、鋼線、亜鉛引鋼線、鋼索用ワイヤ等で年産實額約 50,000 噸その鋼質は極軟から最硬まで各種及工具用炭素鋼、各種原料鋼などである。そしてそれら製品の性質を研究する爲め機械試験室と分析室等の設備整へある。

尙製品の販路は内地諸官廳、一般市場はもちろん臺灣、朝鮮、滿洲にも及ぶ、工場敷地は約 53,000 坪、工場建坪約 7,800 坪、所要電力 7,900 馬力、構内鐵道延長引込線共 2.25 哩、機關車 2. スチームクレーン 4. 門形 6 噸起重機 1. 船積起重機 4. 貨車 23. 舢舨 10 を有してゐる。

本工場は資本金 1,500 萬圓、專務末兼要氏以下職員 490 名。

尙大正 14 年 11 月以來 750 萬圓の豫算で 264,000 坪の埋立工事を實行しつつあり。昭和 4 年中完成の豫定である。そして此のためにサンドポンプ船、小蒸汽船及 3,500 呎の排水管を布設して居る更に本年（昭和 3 年）6 月工場地先 1 萬 9,000 坪の埋立許可をも得てゐる。序ながら記して置く。終りに本工場各年度の生産高を表示する。

年 度	壓 延 鋼 材					販 賣		合 計	鋼 線	鋼 索	備 考
	棒鋼類	形 鋼	線 材	販 賣 鋼 片	小 計	鍛 鑄 鋼 品 類	鋼 塊				
大正 7 年	10,491	—	1,539	—	12,030	88	—	12,118	—	—	
8 "	2,031	—	1,526	—	3,557	69	29,295	32,921	—	—	
9 "	2,911	—	6,969	35	9,915	181	10,846	20,942	—	—	
10 "	2,368	1,456	15,631	69	19,524	400	7,327	27,251	—	—	
11 "	7,253	—	12,902	3,349	23,504	—	5,083	28,587	—	—	
12 "	7,174	—	13,007	4,512	29,693	216	228	30,137	—	—	
13 "	16,804	—	9,898	68	26,770	215	2	26,987	—	—	
14 "	21,242	—	12,964	48	34,252	278	—	34,530	1,375	—	1月より作業開始
昭和 1 "	32,152	—	6,204	648	39,004	157	1,655	40,816	2,148	258	3月より作業開始
2 "	33,803	—	5,147	40	38,990	195	2,161	41,346	2,346	475	

(5) 東海鋼業株式會社（若松市濱の町）八幡の製鐵所から鋼片及鋼塊の拂下を受け、之を壓延し販賣するの目的で、資本金 300 萬圓を以て大正 5 年 11 月設立せられ同 7 年 7 月から本工場の作業が開始された。されど間もなく世界大戦の熾和時期に入り以後經營頗る困難をかさねたが、大正 12 年頃から稍順調に向ひ、昭和 2 年 8 月には鐵道省指定工場となり産額も漸次増加しつつある。次は創立以來各年度の生産高である。

年 度	鋼 板 噸	條 鋼	合 計	年 度	鋼 板 噸	條 鋼	合 計
大正 7 年度	3,285	—	3,285	大正 12 年度	9,702	17,241	26,943
" 8 "	4,999	—	4,999	" 13 "	12,478	18,678	21,156
" 9 "	3,678	2,633	6,311	" 14 "	14,184	21,713	35,902
" 10 "	3,361	2,997	6,338	昭和 元 年度	16,683	21,350	38,033
" 11 "	7,539	10,665	18,204	" 2 "	17,736	21,261	38,667

次に本工場設備の概要を記す。

1. 製板工場 三重ロール機（ロール徑 680mm 長 1,800mm）

1. ロール機モーター（交流 1,000 馬力）1. 矯正機（25mm）1. 剪斷機（20×2,470, 20×2,000 及 28×3,048mm）3. 起重機（15噸、6 噸及 2 噸）3. 燒鈍爐 1.

2. 製條工場 三重ロール機（ロール徑 520, 長 1,600mm）1 聯 4, ロール機モーター（交流 1,000 馬力）1. 熱間鋸斷機（4 吋丸）1. 山形矯正機（4×4 吋）1. 型物復動矯正機（4 吋丸）1. 熱鋼片剪斷機（100mm）1.

以上の外 5 噸原料起重機 1 臺、3 噸ロコモチーフクレーン 3 臺、電動機 40 臺（824 馬力）及豫備動力用としてパーソン式 1,500 馬力スチームタービンも 1 臺ある。この外機械試験室や分析室を有

することいふまでもない。

従業員は社長大川平三郎氏、工場長鈴木和藏氏以下社員 45 名、職工 226 名である。

(6) 東洋製鐵株式會社(戸畑市)本社は、大正 6 年 11 月資本金 4,000 萬圓(現在 3,600 萬圓)を以て創立せられたものでその計劃頗る雄大にして、製鉄は勿論製鋼及壓延作業にも及ぶ筈であつたが種々の事情のために實現するに至らず、次の如き所謂第 1 期工事のみに終り今日に及んだ。

銻鑛爐(150T 及 300T) 2. 熱風爐 8. 汽罐 20. 送風機(直立式 3. 横置復式 2.) (1,000 馬力)
5. 骸炭爐(ハルデー式 120 黒田式 55) 175. 副産物工場(硫安、タール、重軽油) 瓦斯清淨機
5. 鑛滓煉瓦工場、工作工場(鑄造、木型、ロール、鍛冶、製罐、機械)

工場敷地は頗る廣大で 32 萬坪に及び又建物 175 棟、9,800 坪その他水路埋立地等數 10 萬坪を有する。

動力に對する設備も各種汽罐 18. 1,400KWH. 瓦斯發電機 1. 空氣壓搾機 3. 又運輸設備としては構内鐵道延長 8 哩、機關車 6. 貨車 64. 海岸棧橋及起重機 5. を有する。

大正 9 年 3 月調によれば従業員は次の如く表はれてゐる。

甲種社員(職員、雇員、傭員) 280 名、乙種社員(職工、工夫、定夫) 1,383 名、臨時人夫(1 日平均) 650 名、合計 2,313 名

然るに大正 10 年度以降八幡製鐵所の委任經營となり爐容を大にし上記諸設備を出来る丈運轉し、殊に銻鑛爐からの鉄鐵とせず銻鉄のまま海上輸送を以て製鐵所の製鋼工場に送る所謂銻鋼 1 貫作業を行ふこととなり、之がため製鐵所は岸壁に銻鉄鍋揚げ卸し用の 50 噸起重機や、運銻用船舶の設備を整へた。

銻鉄が戸畑の銻鑛爐を出で、3 哩の海上を輸送せられ八幡の製鋼工場の平爐に裝入されるのである。

今昭和 2 年度に於ける主要工場能力及實産をみると次の様である。

	能力	實産		能力	實産		能力	實産	
	T	T		T	T		T	T	
銻鑛工場	171,550	181,992	鑛滓煉瓦工場	27,000	15,988	化工工場	硫安	2,274	1,908
骸炭工場	210,980	133,633		バラス	1,511m ³		輕油	2,473	2,338

尙鉄鐵のみに就て年度別の生産をみると次のやうになる。

大正 8 年	30,539,300	大正 11 年	52,396,674	大正 14 年	103,024,390
" 9 "	33,286,200	" 12 "	49,473,350	昭和 元年	108,510,510
" 10 "	52,822,760	" 13 "	64,103,030	" 2 年	181,952,460

(7) 九州製鋼株式會社(八幡市前田) 大正 6 年 9 月安川敬一郎男社長となり、日支合弁資本金 1,000 萬圓を以て創立せられ、製鋼工場(能力年 9 萬噸) 製條工場(能力年 9 萬噸) 及鋼板工場(能力年 6 萬噸)を建設したが作業を開始するに至らなかつた。その後支那との關係を斷ちまた本年 6 月(昭

和3年)を以て八幡の製鐵所と委任經營の調印を了せり、爾來製鐵所は銳意諸般の準備を進め近く全工場の活動をみんとしてゐる。(現在西八幡工場として活動しつつあり)今設備の概要を記してみる。

製鋼工場 50噸鹽基性平爐 3. 發生爐(10噸焚) 12. 起重機(125噸、15噸) 2. 汽罐(タクマ式 200馬力) 3. 建物(3棟) 1,274坪

加熱爐工場 シーメンス加熱爐 4. 發生爐(10噸焚) 8. 建物(2棟) 787坪

壓延工場 三重式鋼板ロール機(ロール徑 30" 長 84") 1. ロール機モーター(交流 2,000馬力) 1. 條鋼ロール(ロール徑 25" 長 65") 1聯 3. ロール機用モーター(交流 2,000H.P.) 1. 起重機(30噸 1. 10噸 2) 3. 建物(3棟) 2,986坪、

其他 建物(5棟) 640坪、鋼片置場(10噸起重機 1台付) 1ヶ所 敷地 72,715坪等なり(以下略)

オーストラリア鐵管繼手需給狀況 (昭和4年6月10日附在シドニー岸總領事代理報告)

海外經濟事情第2年第22號掲載

1. 鐵管繼手輸入稅率

(イ) 濠洲 一般稅率は從價5割、英國品特惠稅率從價3割5分なり。以上は1926年3月に議會通過を見たる増加率なり。

別に獨逸製のものに限り1928年11月17日稅關告示(後添)を以て其賣價濠洲市價よりも低しとの理由により、其市價との差だけ産業維持關稅法に依る所謂ダンピング稅を課せられ、1927年12月9日以後輸入の品に對し遡及徵稅のこととなれり。

(ロ) 新西蘭 内徑3吋以内のカストアイロン製繼手は英國品從價2割外國品4割なるも、其他は繼手の主體たる各種金屬管の稅率と同様なり。金屬管の稅率は種類により異なるも、英國品は無稅より2割迄、外國品は2割より4割迄の間なり。

2. 輸 入 額

(イ) 濠 洲

		1926-27年	1927-28年			1926-27年	1927-28年
輸入總額	{價格 數量	183,096 磅	158,681 磅	瑞 西	{價格 數量	17,869 磅	20,135 磅
		45,472cwt	37,835cwt			3,251cwt	3,765cwt
國 別		1926-27年	1927-28年	米 國	{價格 數量	17,303 磅	11,811 磅
		英 國	{價格 數量			3,953cwt	2,955cwt
獨 逸	{價格 數量	117,784 磅	100,159 磅	(其他略す)			
		28,954cwt	23,567cwt				
		26,716 磅	24,443 磅				
		8,388cwt	7,082cwt				

輸入品中主なるものは英國の Stewart & Lloyd' 瑞西の Georg Fischer 米國の Walworth 獨逸の Bergische Stahl-Industre Geschmied 等の製品なり。

(ロ) 新西蘭 新西蘭統計は繼手と其主體たる金屬管とを合せたる數字のみを擧げ、別個の數字を擧げざるを以て繼手輸入額不明なり。

3. 濠洲内地生産狀況

濠洲に於ける鐵管繼手製造は Edward Weir, Ltd. (シドニー) Andrew Thomson & Scougall, Ltd. (シドニー)の2社に限らるる處、上2社の製造年額は之を知り難きも、太體に於て特別の大きさ、形及質を要するものを除きては、上2社の製品が廣く使用せられ居り、今の處新に輸入増加の見込は餘り無きものと認めらる。濠洲工業は労働時間の制限及勞銀の高率なる爲、其生産費嵩むを以て上2社に於ては、其事業保護の爲輸入品の稅率引上を政府に請願し、其結果として前記の如く1926年3月増稅を見たり。其後1927年に至り上2社は更に増稅請願を政府に爲し、關稅審議會は賛否雙方の陳述を聽取したる結果、現在以上増稅の必要無しと認めたり。

獨逸品に對しては別にダンピング稅の賦課あること前記の如く、其他の外國品も其價格次第に依りては同様の賦課を蒙ること有るやも圖り難し。

4. 濠洲及新西蘭主要各都市に於て本邦品取扱の見込ある商社名(特に本邦品取扱の見込ある商社の有無不明なるシドニー及ブリスベンに在りては從來鐵管繼手取扱若くは買入を爲し居る商社名を列舉し置きたり)。

(イ) シドニー

Australian Gaslight Co., Haymarket. Sydney.

(シドニー中央部及南部の瓦斯供給會社なり)

North Shore Gas Co., Ltd. North Sydney.

(シドニー北部の瓦斯供給會社なり)

Briscoe & Co., Ltd., 383 Kent Street., Sydney. Broomfields, Ltd., 152 Sussex St., Sydney.

John Danks & Son Pty. Ltd., 324 Pitt Street., Sydney. W. S. Friend & Co., 113 York Street.,

Sydney. Keep, Macpherson, Ltd, 252 George St., Sydney.

(獨逸 B.S.I.G. 製品取扱)

Paul & Gray, Ltd., 82 Sussex St., Sydney. Buzacott & Co., Ltd. Market Street., Sydney.

Malleys, Ltd., Mountain St., Sydney. J. Blackwood & Son., Ltd. 86 Sussex St., Sydney.

William Adams & Co., Ltd. 175 Clarence St., Sydney.

(瑞西 G.F. 製品取扱)

W. H. Greenbaum 40 King St., Sydney.

(米國 Walworth 製品取扱)

(ロ) メルボルン

Edward Duckett & Sons, Lonsdale Street, Melbourne.

註 以上は各種鐵製品を取扱ひ居り本邦製各種商品を取扱ひたる經驗を有す。

(ハ) ブリスベン

Watson Bros. Ltd. Margaret Street, Brisbane. Jas. Gampbell & Sons, Ltd. Creek Street, Brisbane. Perry Bros Ltd. Cnr. Albert & Elizabeth Sts. Brisbane. Podmore & Son. Adelaide Street, Brisbane. Jeffrey & Forman Elizabeth Street, Brisbane. Ironmongeries Ltd. Queen Street, Brisbane. McDonnell Hardware Co., Ltd. Queen Street, Brisbane. Intercolonial Bring Co., Ltd. Ann Street, Brisbane. Brett & Co., Ltd. Wharf Street, Brisbane.

註 ブリスベン其他クインスランド州各地に最も廣く需要せられ居るはシドニー Weir 會社製品にして輸入品中にては Burns, Philp. & Co., Ltd. が代理店となり居る Stewart & Lloyd 製品最も廣き販路を有す。

(ニ) アデレード

Parsons & Robertson, Ltd. 172-174 Pulteney Street, Adelaide.

註 上商社の取締役の一人たる F. L. Parsons 氏は本邦の名譽領事なり、型録價格表及見本の送附に接したる上取引問題考慮すべしとの事なり。

(ホ) ウェリントン(新西蘭)

Ballinger Bros., 40 Waring Taylor Street, Wellington, New Zealand.

註 上商社の言に依れば、従來は Wrought iron のものを取扱ひたること無きものも Malleable のものに付ても一應型録價格表及見本の送附を受け一覽し度しとのことなり。尙新西蘭政府に於ては政府の行ふ各種工事契約は Stewart & Lloyds 若くは Scottish Tube Company 製器を用ふることを條件とする爲、政府關係の工事を主として請負ひ居る大會社に於ては上 2 社以外の製品に對し手を出し難き状態に在り。

スペイン國關稅定率表中鐵鋼の部改正 (昭和 4 年 7 月 1 日附スペイン荒井臨時代理公使報告) (海外經濟事情第 2 年第 24 號) 鐵鋼に關する西國關稅定率表中一部變更修正ありたる件は既報の通りなる處、前顯修正に伴ふ解釋上の明確を期する爲、本年 5 月 16 日附經濟省令第 1,261 號を以て西國關稅定率表中鋼鐵に關する分一部修正ありたり。

鋼鐵に關する西國關稅定率表中修正令要譯 (1929 年 5 月 16 日附西國經濟省令第 1261 號、1929 年 5 月 21 日附西國官報を以て公布)

(一) 本年 3 月 1 日附西國官報收録の經濟省令第 513 號に對する説明として、特殊鋼鐵にしてタングステンの含有量 1%、クロームの含有量 12% 乃至 13% のものは 1% を超過せざるタングステンの含有量が前記鋼鐵に對する關稅上の條件に變化を來さざる場合に於ては稅番第 259 D に該當する不酸化鋼鐵の條件を失はざるものと諒解す。

(二) 特殊鋼鐵に關する關稅上の類別中、鋼鐵に付未規定の一切の結合成分若は將來現はることあるべき珍稀の成分を含むものに對し、其適用上の範圍を明にする爲、本年 3 月 1 日附經濟省令第 513 號所掲の稅番第 259 C の名稱は以上の通り變更、修正せられたるものと看做す。

タングステン、モリブデン、バアナデイム、チタン、コバルト、ウラニウム若は其他珍稀にして高價なる何等かの成分含有量 10% 以上の鋼鐵、ニツケルの含有量 10% 以上の鋼鐵、クローム

の含有量 10% 以内及 14% 以上の鋼鐵竝之等成分にして他の稅番竝稅番 359 C に規定せられざる其他の結合より成る鋼鐵。

タラシチャ村附近に鐵鑛發見(浦潮管區) (海外經濟事情第 2 年第 26 號) (昭和 4 年 7 月 15 日附在ハバロフスク山口總領事報告) ウスリー驛附近カバルガ川のウスリー河への合流點にタラシチャと稱する村がある。同村の附近に横はる二山に鐵鑛床ありとの同村民の情報に基き、其噂が何の程度迄眞實なるやを確むる使命を以て小探鑛隊が組織された。

圖らずも同隊作業の當初は該産地が頗る興味あるものであり、且多分大なる將來を有すべしと斷ずることが出來た。前記二山中の 1 マーラヤ山には東南方から沼鐵鑛床が顯れた、其の成分は其 80% が黒鋼鐵色の、そして磁石質を有する頗る純粹の鐵鑛より成つて居ることが解つた。即ち同鐵鑛の各塊は強く磁石にて牽引せられ、又同鐵鑛竝沼鐵の塊を牽引したのである。

該鑛物は薪火の大ならざる燒灼を加ふるのみにて、鋼鐵製器以外では之を鍛鍊し能はざる様な、緻密にして強靱なる鐵と化したのである。又該鑛物は密層を成して居り、且露出して居るから露天掘に便利である。

此黒鋼鐵鑛の中には松脂に酷似して居るが、尙一層燦然たる黒色の光輝を有する石鑛層が顯れた。該鑛層は全く純粹なるものにして、他の混入物無く可なり廣大なる範圍に及で居る。

該石の成分は目下の處現地では之を決定することが出來なかつた、次に以上マーラヤ山の外他のポリシアーヤ山でも鐵鑛が發見された。即ち該山には三方より沼鐵より成る隆起地がある、そして全山の約 7 割が鐵鑛より成て居る。又同山の東南方から赫石の深層が發見された。

現在は表面的探鑛が繼續されて居るが、吾人は鑛業に關係ある全機關の深甚なる注意を必ずや、引著くべき鐵鑛産地と關係を有することを充分なる自信を以て確言することが出来る。

豫備的表面的探鑛は一層深きに亘り、且慎重なる調査を以て之を代ふべきである。(當地極執委員會機關紙)

世界動力會議東京部會論文前刷配布 1)、論文前刷は論文一篇毎に小冊子とし實費 1 頁約 1 錢 2 厘 (一篇 2—30 頁) 外内を以て論文表の内入用分のみ選定、論文番號と冊數記入の上、東京市丸ノ内有樂館内社團法人日本動力協會宛申込まれたし 2)、冊子は印刷出來次第實費を計算し申込者へ通知すべきに付送金と引換に冊子を送附す 3)、冊子印刷總部數には限りあり申込順により締切るべきを以て至急申込まれたし

追而東京部會へは日本動力協會會員以外の者も臨時參會する事を得(臨時會員費金五圓)詳細は東京市丸ノ内社團法人日本動力協會(電話丸ノ内四六四七番)へ照會の上臨時會員申込書至急提出せられたし(但滿員の際は謝絶することあるべし)

以上同會議より掲載方依頼ありたり、尙論文表必要の方は同會議へ照會の事

昭和4年7月中(八幡)製鐵所銑鋼生産高表

(單位噸)

銑			鐵			鋼			塊			鋼			材		
當月生産高	前月比較	1月以降累計	當月生産高	前月比較	1月以降累計	當月生産高	前月比較	1月以降累計	當月生産高	前月比較	1月以降累計	當月生産高	前月比較	1月以降累計	當月生産高	前月比較	1月以降累計
64,952	+456	473,328	107,611	+2,998	771,844	76,533	-5,384	605,453									

本邦主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 (單位噸) 商工省鑛山局

種別	6月分			1月以降累計		
	昭和4年	昭和3年	比較増減	昭和4年	昭和3年	比較増減
銑鐵	127,394	123,043	4,351 4%	757,706	741,022	16,684 2%
普通鋼	183,955	160,418	23,537 15%	1,120,120	922,240	197,880 21%
販賣向壓延鋼片	10,101	2,594	7,505 289%	54,426	20,220	34,206 169%
販賣向シートバー	393	858	△465 △54%	2,672	3,726	△1,054 △28%
普通鋼壓延鋼材	145,838	141,177	4,661 3%	928,118	801,043	127,075 16%
内譯						
鋼板 { 厚0.7耗以下	16,234	9,823	6,411 65%	91,342	52,963	38,379 72%
鋼板 { 其他	29,612	29,528	84	165,960	164,361	1,599 1%
棒鋼	44,658	46,852	" 2,194 △5%	317,605	263,924	47,681 18%
形鋼	16,894	20,425	△3,531 △17%	128,400	122,433	5,967 5%
軌條	24,319	20,598	3,721 18%	140,970	111,039	29,931 27%
線材	5,371	5,694	△323 △6%	32,891	30,552	2,339 8%
鋼管	6,664	5,474	1,190 22%	35,743	32,953	2,790 8%
其他	2,086	2,783	△697 △25%	15,207	16,818	△1,611 10%

△印は減

昭和4年7月中外國銑輸入高 (銑鐵共同組合)

輸入港	横濱	神戸	大阪	門司	名古屋	其他	計	1月以降累計
支那	—	—	—	—	—	—	—	2,122
印度	10,421	9,169	19,729	4,027	1,102	—	44,448	282,534
英國	584	51	102	—	—	—	737	4,607
獨逸	—	—	—	504	—	—	504	4,327
米國	1,024	1,593	51	—	—	—	2,668	23,909
瑞典	—	—	—	—	—	—	—	821
計	12,029	10,813	19,882	4,531	1,102	—	48,357	318,320

備考 大藏省主稅局調査の數字は單位擔なるを以て一擔 0.06048 噸の割合にて換算したり

銑鐵市場在庫月報

昭和4年7月31日現在 三菱商事株式會社金屬部

市場	生産筋	問屋筋	消費筋	合計	前月比較	摘要
東横	15,841	3,420	24,142	43,403	+11,957	
京濱						

名古屋	1,459	3,031	2,150	6,640	+ 1,658
大神阪戶 }	5,056 {	10,250	71,161 }	95,467	+ 5,497
門長司崎 }	1,135 {	2,122	7,095 }	10,352	+ 75
函館蘭	—	—	—	—	—
室石	8,886	—	—	8,886	- 1,897
釜二浦	11,117	—	—	11,117	+ 2,862
兼大連	35,118	—	—	35,118	- 5,253
大其連	36,706	2,220	385	39,311	+ 3,949
其合他計	749	—	—	749	+ 498
前月比較	116,067	30,043	104,933	251,043	+19,346
備考	+2,522	+6,356	+10,468	+19,346	
前年度同月	86,442	26,873	42,243	155,558	

銑鐵市場在庫品種別高月報

昭和4年7月31日現在 三菱商事株式會社

品 種	京濱	名古屋	阪神	九州	滿鮮	北海道	其他	合計	前月比較
兼二浦	10,285	1,480	7,143	1,922	35,173	—	—	56,008	+ 2,687
釜石	260	—	1,060	—	—	—	11,117	12,437	+ 2,862
輪西	5,247	1,950	3,850	150	—	8,886	565	20,648	+ 635
鞍山	2,520	505	7,480	1,610	35,134	—	—	47,249	+ 1,803
本溪湖	2,312	789	3,343	302	3,807	—	184	11,237	+ 353
淺野銑	8,419	—	—	1,020	—	—	—	9,439	- 504
大暮	—	—	—	10	—	—	—	10	- 17
Tata	1,440	50	24,050	730	—	—	—	26,270	+ 1,153
Burn	12,235	520	32,521	4,070	140	—	—	49,486	+ 8,310
Bengal	360	890	10,250	433	—	—	—	11,933	- 1,653
Cleveland	15	6	100	—	—	—	—	121	- 24
Hematite	55	—	300	—	—	—	—	355	- 240
Swedish	—	—	70	—	—	—	—	70	- 15
Mysore	—	—	—	60	—	—	—	60	- 100
米國銑	25	—	3,100	—	—	—	—	3,125	+ 600
大陸銑	—	—	—	15	—	—	—	15	- 10
雜	230	450	1,700	30	170	—	—	2,580	+ 200
合計	43,403	6,640	95,467	10,352	74,429	8,886	11,866	251,043	+ 19,346
前月比較	+ 11,957	+ 1,658	+ 5,497	+ 75	- 1,304	- 1,897	+ 3,360	+ 19,346	—

昭和4年8月(八幡)製鐵所銑鋼生產高表 單位噸

銑 鐵			鋼 塊			鋼 材		
當月生產高	前月比較	1月以降累計	當月生產高	前月比較	1月以降累計	當月生產高	前月比較	1月以降累計
63,571	-1,381	536,899	102,221	-5,390	874,065	73,721	-2,809	679,177